

HOT NEWS

夕張市の財政破綻問題は日本全体の問題だ!



夕張市の財政破綻は、遠く離れた向こう岸の話ではありません。

奇しくも夕張市の人口を1万倍すると日本国の人口。同じく夕張市の負債を1万倍すると日本国の借金。全国の都道府県や市区町村が抱える借金も加えれば、夕張市以上の負債を一人ひとりの日本国民が抱えている現実から目を逸らしてはなりません。

石炭産業の栄枯盛衰に翻弄された夕張市の惨状は、超少子・超高齢社会が加速的に進行していく日本の近未来を映し出す手鏡なのです。



その夕張市へ、北海道知事も他政の幹部も未だ訪れぬ中、現場主義と直接対話を掲げる新党日本は逸早く駆け付け、住民との車座集会で意見交換を行いました。

緊急避難場所に指定されている公共施設が閉鎖され、電気・水道も不通となっている危機的状況を把握した上で、即時に善処すべきだと北海道庁で副知事に要請しました。

未来の子供達に、公共事業の残骸とも言うべきコンクリートの山と借金の山ではなく、福祉・医療・教育の恵みの山、更には国土の7割近くを占める緑の山を残すべきです。それは、「地域から日本を変えよう」との理念の下に結党した新党日本の哲学でもあります。

にも拘らず、日本国の借金は1時間に66億円と猛烈な勢いで増え続け、総額1000兆円を超えて今や世界一です。「構造改革」を旗印に劇場政治を展開した小泉純一郎内閣の5年半、驚くなかれ、250兆円も悪化したのです。

「一山一家」の企業城下町だった夕張市は、国策で閉山を余儀なくされた炭鉱会社から医療施設を始めとする様々な住民サービスを受け継ぐ際、本来ならば国や道も積極的に協力すべきだった「負の原資」の大半を、引き受けざるを得ませんでした。

他方で、町興しの一環として観光事業に取り組むなら起債(借金)は認めるよ、と甘い言葉を国も道も囁き続けました。観光事業こそ夕張に希望を与える新文化産業、と広告代理店や政府系金融機関も持ち掛け、雪だるま式に負債は膨れ上がったのです。

夕張市に留まらず、そうした税金と借金の遺物は、全国各地に点在しています。建物と道路と公園の新設にしか起債を認めない、日本のハコモノ行政の弊害です。

地方自治体の道路を一例に説明を加えれば、建設費用の6割余りは国が負担します。が、出来上がった後の維持補修費用は全額、自治体負担なのです。誰もが首を傾げる新しい道路が建設される一方で、既存の道路も歩道も路面が痛んで危ない状態が続く原因です。

「造るから直すへ」。安心で安全な社会を再生してこそ、日本に暮らす喜びと誇りを抱けるのだと思います。

「常識をひっくり返すことにこそ、夢がある。」新党日本の結党の誓いです。



新党日本

長いものに巻かれる勇気。もう1人の自分が、冷静に見詰める視点。
描かれた2つの日の丸は、新党日本の心意気です。

サポーターを募集しています。

新党日本では、それぞれの地域から日本を再生しようと熱き志を抱く同志、サポーターを広く募集しています。
詳しくは下記までお問い合わせください。

電話:03-5213-0333 Eメール:goiken@love-nippon.com